

NEWS LETTER

2014.6.30

No.46

〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4-18-22 TEL: 078-453-5931
http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

発行：にほんごひろば岡本

日本語学習ボランティア養成講座に古川さんと佐々木さんが、
ゲストスピーカーとして招かれました。

新長田での日本語学習ボランティア養成講座にゲストで行って来ました。講座の第二回目ということで、日本語教室の概要や、担当講師の方が活動しておられる東灘日本語教室での様子をビデオで鑑賞したり、ボランティアのあり方などをお話されていました。

休憩を挟んで、ボランティア三名の体験談を話すということで、教室の皆さん（45名だそうです）の前で、一人ずつ話した後、質疑応答にパネルディスカッションを加えた感じで、時間一杯までお話ししました。

体験談としては、順に私から主に小学校での日本語支援について、そして佐々木さんが定年退職後の男性のボランティア活動として日本語を教えることの有意義な点を、ユーモアたっぷりに話していただき、またアラストさん（ご主人が外国人の奥様）の、外国人児童の保護者対象の支援活動についてのお話をさせていただきました。

話す方も、いろんな方面から話せたので、講座受講生の皆さんにも参考になったかと思えます。

質問もたくさんいただき、私たちが精一杯答えてみました。

せっかく意欲を持って、日本語ボランティアを考えておられる皆様に、ともかく講座を修了したら一步踏み出してみる勇氣を持ってもらい、自分自身もそこに楽しみを見つけて、長く続けてほしいと思います。 (古川 千香)



2014年度日本語学習ボランティア養成講座の2回目(6月4日)に"ボランティアの体験談を聞こう"があります。その体験者として古川千香さんと私がにほんごひろば岡本から参加しました。

体験談は古川さんがトップバッターで始まりました。

古川さんは自分の体験をトップバッターに相応しく、丁寧に親切に説明されました。彼女の本山第2小学校国際教室の体験談は皆さんの記憶に残ったことでしょう。日本語がわからないため日々苦勞している子供たちの「居場所作りをどうするか」「彼らに安心感を与えるためにどうするか」、また、学習の具体例として絵本を持参して「どのように使うか」「どのように読むか」等を説明されました。

私は、日本語ボランティアのやりがいや利点を話しました。定年後、まだ能力がある男性をもっとこの分野に勧誘したいという思いが少しでも伝わればと思います。 (佐々木 五十四)